

介護は『必要火急』の仕事

生活とりこびり研究所

三好春樹

介護っていい仕事だな、とつくづく思っています。

私は24歳のときに障害ホームに就職し、4年半介護職として入浴介助などをしました。その後3年間学校に行き、さらに3年間、ほとんどはP.T.として同じ障害で働きました。

フリーになつてからも、在宅や施設の介護に関わってききましたが、次第に講師の仕事の割合が増え、現場に直接関与することがなくなりました。

そこに、新型のコロナウイルスです。3月以
降、仕事は無くなってしまいました。回りを
見渡すと、私と同じようなフリーの講師や、
音楽家たちも仕事を失っています。あなたた
ちのやっぐることは「不要不急」だ、と言わ
れるかもしれません。

旅館やホテル、運送業といった観光客相手
の仕事も倒産に追い込まれています。フリーで
飲食店だけでなく、外出自粛で商店は次々と

シヤッターを降ろしました。

変わらず営業していきるのは食料品を扱う店
 やスーパーです。どんな状況でも人は食べな
 くてはなりませんから。肉や魚、野菜なん
 かを扱う仕事は、日銭をかせぐ、効率がよい
 とはいえない仕事ですが、こんな危機的状況
 では強い仕事だといえるでしょう。「不要不
 急」なんかありません。

医療という仕事はこうしたときこそ必要で、
 病気に立ち向かう病院関係者へのメールが世
 界中を起きているからね。

こんなときに迎えるわけにはいかなないので
 ですから医師は大変な仕事だなあ、と思えます。
 日頃抱えている高給をとる医師へのやっかみ
 も少しやわらぎそうです。

食べもの、医療と並んで必要なのが介護だ
 す。非日常の中で命を守るのが医療なら、日

常の中で命を守るのが介護です。これは難しい仕事です。

というのも、こんな事態だからといって日常を失ってしまったりかえって高令者の命を守れなくなるからです。

持病を持っている要介護高令者の感染は、即、命に危ねります。そしてその感染の最大の要因は介護転です。

なにしろ介護はテレワークなんてできません

ん。それどころか「濃厚接触」そのものです。

だから今、介護職は自分の健康に気を付け、できるだけ家から出ない生活を、一般人以上に心がけているはずですよ。

家にいるとしても、優雅にソファに坐ってはいられません。家事と育児に追われて、
あり眠不足のまま、また現場に駆けつける毎日でしょう。

介護職の皆さん、発熱や体調不良のときに

は送れず休んでください。それじゃ現場は回
らない、たしかにそのとおりです。

管理者、経営者の皆さん、今こそ人を増
やしてください。急に応援に来てもらえる人
はいませんか？以前現場にいた人が手が空い
てれば声をかけてください。

今、ハローワークには職を求めている人がたく
さんいます。体験も資格も興味もない人に介
護を託すのは心配？でも私もそうでした。

介護の奥深いところは、専門的知識や技術

より人生経験が役立つとということごとです。若さと力とでできることでもあります。しばらくはそれとていいでしょう。そのなかから、介護の面白さ、他の仕事にはない魅力を感じとる人が出てくると思いますよ。

私の仕事は、声がかかると出かけて行って話をというものです。今のうちにどこからか声がないと、おまへは必要がないと言われたいような気になります。

その点、介護は11の仕事です。こんな事態
でもなくなることはありません。それどころ
か、お母さんが待っていてくれるんですから。
「不要不急」どころか「必要火急」の仕事で
す。

私は今年で70歳(!)になるうとしこいま
す。だから介護現場にも足手まといにな
るだけでしょう。でも「介護員になにか工
ルを」と言われて、自分も必要とされているの

かもしねない、と勝手に思ってこの文を書き
 ました。少しでも「必要火急」になっていた
 らうれしいです。